

名大の時間

コロナ渦におけるサークル活動の現状

nen?

こんにちは。名寄市立大学でドイツ語サークル長を務めています芥川です。今回、皆さんに私たちのサークル活動の現状についてお伝えしたいと思います。まずは、一文目の言語について少しお話をします。わかる方もいらっしやるかもしれない。日本語に訳してみると「こんにちは！」「お元気ですか？」というような言葉になります。これは、私がドイツ語の勉強を始めてすぐに教わった言葉です。使用しているテキストを確認すると、最初のページの上部に1年生の頃の私がしっかりと書いていました。

私はドイツ語サークルに所属して3年目を迎えています。が、活動に参加したのは1年生のときの1年間のみです。市

外に住んでいる講師の方に来ていただき、大学内で活動しているドイツ語サークルでは、新型コロナウイルスの影響により、2020年度以降1回も活動を行わずにいます。講師の方とオンラインでの活動を考えていますが、時期や環境面等からなかなか実施出来ず、新入生の参加もない状態です。そして何より、ドイツ旅行へ行けなく

なってしまったことが本当に残念です。ドイツ語サークルでは1年生になると、希望すれば夏にドイツ旅行へ行きます。私もサークルの友人と行こうと話しながらドイツ語を学び、先輩方からは、お話を聞いたり写真を見せたりもらったりしていました。

ば、昨年の夏に友人とドイツを楽しんでいたかもしれない。スマートフォン、スマートフォンのアルバムにはドイツの風景や食事が入っていたかもしれない。貴重な経験をしていたかもしれない」という思いをなかなか消化出来ずいます。

大学生生活の思い出

の大部分に「コロナ」という言葉がつきまとい寂しいですが、少しでも楽しい学生生活、サークル活動の思い出を作り、卒後、社会人となってから友人とドイツ旅行に行けることを目標に取り組んでいきたいと思えます。

社会福祉学科3年

芥川涼子

